

# 日医ニュース

2020. 9. 5 No. 1416

発行所 **日本医師会**  
Japan Medical Association  
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
電話 03-3946-2121(代)  
FAX 03-3946-6295  
E-mail www.info@po.med.or.jp  
https://www.med.or.jp/  
毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



**トピックス**

- 定例記者会見 …… 2～3面
- 横倉前会長に「名誉会長」の称号を授与 …… 2面
- 役員紹介＜常任理事＞ …… 4～5面

中川会長

## 「今後の感染拡大を見据えたPCR等検査体制の更なる拡大・充実のための緊急提言」を公表

緊急提言は、(1) 保険適用によるPCR等検査の取り扱いの明確化、(2) 検体輸送体制の整備、(3) PCR等検査に係る検査機器の配備、(4) 臨床検査技師の適切な配置、(5) 公的検査機関等の増設、(6) PCR等検査受検者への対応体制の整備、(7) 医療計画への新興・再興感染症対策の追加の7項目(詳細は別掲)からなっている。

中川会長は今回緊急提言を公表した背景について、PCR等検査が進んでいない現状があることを挙げる。また、「医師が必要であると認めた場合には、確実にPCR等検査を実施できるように、緊急提言を取りまとめ、公表してもらった。国に対しては財源を確保した上で、その実現に努めるよう強く求めている」とした。

会見に同席した釜淵敏常任理事は、「日医は医師が必要と認める方に対する検査が、迅速かつ適切に行われるということを求めている」と述べた。一方、「不安を感じて検査を受けた方全てにPCR等の検査を実施すること、日医が求めているわけではない」と強調した。

中川会長は今回緊急提言を公表した背景について、PCR等検査が進んでいない現状があることを挙げる。また、「医師が必要であると認めた場合には、確実にPCR等検査を実施できるように、緊急提言を取りまとめ、公表してもらった。国に対しては財源を確保した上で、その実現に努めるよう強く求めている」とした。

会見に同席した釜淵敏常任理事は、「日医は医師が必要と認める方に対する検査が、迅速かつ適切に行われるということを求めている」と述べた。一方、「不安を感じて検査を受けた方全てにPCR等の検査を実施すること、日医が求めているわけではない」と強調した。



中川俊男会長は8月5日の定例記者会見で、新型コロナウイルス感染症の最近の状況に触れ、医師の専門家集団の立場から発言していきとした上で、「新型コロナウイルス感染症の今後の感染拡大を見据えたPCR等検査体制の更なる拡大・充実のための緊急提言」(以下、緊急提言)を公表。その実現に向けた活動を展開していく意向を示した。

### 新型コロナウイルス感染症の今後の感染拡大を見据えたPCR等検査体制の更なる拡大・充実のための緊急提言

令和2年8月5日  
公益社団法人日本医師会

日本医師会は、新型コロナウイルス感染症対策の更なる推進に向けて、医師が、PCR等検査及び抗原検査(定量、定性)(以下、「PCR等検査」)が必要であると認めた場合に、確実にPCR等検査を実施できるように、以下のとおり提言する。

国は財源を確保した上でその実現に努めるよう、強く要請する。

#### 提言

- 1. 保険適用によるPCR等検査の取り扱いの明確化**  
保険適用によるPCR等検査については、行政検査の委託契約締結が無くとも実施可能であることをあらためて明確化すること。  
また、当該検査の実施料、判断料に係る患者一部負担金を公費で措置すること。
- 2. 検体輸送体制の整備**  
PCR等検査実施医療機関の拡大に対応可能な検体輸送体制を人的・物的両面から整備すること。その際、検体梱包・輸送等に係る費用の補助を行うこと。
- 3. PCR等検査に係る検査機器の配備**  
新型コロナウイルス感染症対策の緊急性に鑑み、全国各地にPCR検査機器を大幅に増設すること。
- 4. 臨床検査技師の適切な配置**  
PCR等検査の実施にあたり、検査機関に検査に対応できる臨床検査技師を適切に配置すること。
- 5. 公的検査機関等の増設**  
検査対応能力の向上のため、民間検査機関に加え、各地域に公的検査機関等を増設すること。
- 6. PCR等検査受検者への対応体制の整備**  
検査が終了し、検査結果が出るまでの受検者の待機場所を整備すること。さらに、陽性者(軽症者、無症状者)の療養場所としての施設を整備すること。
- 7. 医療計画への新興・再興感染症対策の追加**  
都道府県が策定する医療計画の5疾病5事業に新興・再興感染症対策を速やかに追加すること。

感染症の感染予防には必須であるとし、感染拡大の一因となる可能性が高い「業種、集団、地域」に対して「要請」、「指示」だけではなく、一定の強制力のある「命令」ができるようにすべきであると指摘。その命令に当たっては、国で一律に行うのではなく、地域の実情を把握している都道府県に一定の権限を持たせ、きめ細やかに対応すべきである」とする。

中川会長は、緊急提言の内容を詳細に説明するとともに、行政検査に伴う委託契約は事後契約でも可能ということが都道府県に十分理解されたい

加藤厚労大臣に緊急提言の実現を要求  
— 中川会長

中川会長は8月7日には、釜淵常任理事と共に厚生労働省を訪問。加藤勝信厚労大臣に直接、緊急提言の実現に向けた協力を求めた。



ない現状を報告。「検査を行つたため、都道府県と委託契約をしなければなら

してその改善を求めた。これに対して、加藤厚労大臣は一定の理解を示した他、医師が必要とする検査を幅広く実施できる体制を構築していくべきとの考えで両者の考えが一致。今後、両者その仕組みを検討していくこととなった。

その他、加藤厚労大臣は当日、新型コロナウイルス感染者で宿泊療養が困難な場合の自宅療養に関する考え方を公表したことについて、「自宅療養者への医療の提供について、ぜひ、地域の医師会の協力をお願いしたい」と要請した。



# 日医 定例記者会見

8月5・19日

## 新型コロナウイルス感染症の最近の状況並びに「みんなで安心マーク」の発行状況を説明



### 発行状況を説明

中川俊男会長は、新型コロナウイルス感染症の最近の状況を踏まえて、国民に対して改めて感染予防の徹底を呼び掛けた他、(1)PCR等検査体制の更なる拡大・充実のための緊急提言のその後の状況、(2)各都道府県におけるPCR等検査の検査対応能力に係るアンケート調査(3)「みんなで安心マーク」の最新の発行状況——の3点に対する日医の見解や取り組みをそれぞれ述べた。

中川会長はまず、「再度我慢のお盆休み」を求めていたお盆期間中には、都道府県を越えた移動をした方が、全国で昨年同期の約6割に減少したとの報道を受け、「国民一人ひとりが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために自覚を持って行動を実践された結果と受け止めてい

る」との見方を示した。一方で、全国の新規感染者数は連日1000人を超えるなど、全く予断を許さない状況から、国民に対して、「こまめで丁寧な手洗いを徹底する」「身近な人と一緒にいる時もマスクの着用を徹底する」など、引き続き感染予防の徹底に努めて欲しいと改めて要請。更に、熱中症への対策についても、厚生労働省のホームページに掲載されている「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントを参考に、エアコン使用時にも窓を開け、換気を行うこと等の実施を呼び掛けた。

(1)の「PCR等検査体制の更なる拡大・充実のための緊急提言のその後の状況」については、前回8月5日の会見で緊急提言を公表した後、翌6日から政府与党を始め、超党派の「医師国會議員の会」などを訪問し、その内容について説明した結果、多くの国會議員から理解が深まったとの反響があったことを報告した。

(2)の「各都道府県におけるPCR等検査の検査対応能力に係るアンケート調査」については、緊急提言の実現に向けて現状をより具体的に把握するため、都道府県医師会を対象としたアンケート調査を実施することを明らかにした。

調査項目は、①現在、各都道府県で検査を実施できる場所（地域外来・検査センター、医療機関）がどのくらいあるのか②それが十分な数なのか③検査実施機関を増やせないとしたらその原因は何なのか——等を予定しているとし、早急の結果を取りまとめ、その結果を基に、厚生省、経済産業省を始め、関係省庁との具体的な協議を進めるとの考えを示した上で、経産省とは「検体輸送体制の整備」「PCR等検査に係る検査機器の配備」「公的検査機関等の増設」について、既に事務局レベルでの協議を始めていることを報告した。

(3)の「みんなで安心マーク」の最新の発行状況については、8月7日より日医ホームページ上で発行を開始した結果、8月19日14時時点で発行件数は4683件（最新の発行件数は日医ホームページ参照）であったと他、27日からインターネット広告を通じて紹介する予定であると述べた。

18日には、超党派の「医師国會議員の会」から、PCR等検査の行政委託契約の事後契約の明確化などを盛り込んだ提言書が加藤勝信厚労大臣に提出されたことを紹介した。

更に、8月7日には加藤厚労大臣と面会し（関連1面）、緊急提言の実現に向けて具体的な意見交換を行ったとし、「PCR等検査を幅広く実施できる体制を構築したい」という思いは同じである」との大臣の発言を受け、その具体的な方策について釜淵敏常任理事を中心に厚生省の担当部局と協議を始めたことを説明。協議の論点については、「保険適用によるPCR等検査が行政検査の委託契約なしで行えるようにし、その際の患者一部負担金を公費で措置すること」などである。医療現場からは、行政検査の委託契約の基準が都道府県間で異なっていること以外にも、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HERISSYS)での報告について、入力内容が多く、負担になっている等の声が上がっていることから、政府に対して早急な改善を求めていくと述べた。

## 横倉前会長に日本医師会「名誉会長」の称号を授与



中川俊男会長は8月19日に行われた定例記者会見で、横倉義武前会長の功績を称え名誉会長の称号を授与することを報告した。

横倉前会長に「名誉会長」の称号を授与することについては、6月27日に開かれた第147回日本医師会定例代議員会の際に中川会長から提案し、代議員の賛意を得ていた。

横倉前会長に贈呈する「称号記」を披露しながら説明を行った中川会長は、称号の授与を機関決定したことを横倉前会長に伝えたところ、「快くお受けする」とのお返事を頂いたことを明らかにするとともに、「横倉前会長には今後も折に触れご相談申し上げ、ご指導賜りたい」と述べた。

## 新型コロナウイルス感染症の医師会病院経営への影響 (2020年3～6月)を概説



療機関に安心して来院できるように、全ての医療機関でこのマークを活用頂きたい」と述べるとともに、「国民の皆さんには医療機関では徹底した感染防止対策を実践していることを理解頂き、健康に不安がある際には、無理な我慢をせず、かかりつけ医に相談して欲しい」と繰り返し呼び掛けた。

分けて行ったアンケート調査を統合して分析したもので、2020年3～6月分について前年同月と比較している。1回目の調査期間は6月5日から7月3日、回答数は58病院（回答率80・6%）、2回目の調査期間は7月10日から8月14日、回答数は56病院（回答率77・8%）。

「医療収入」の2020年3～6月の通期は8・3%減であり、「医療利益（損失）率」は前年の6・4%減から15・5%減に悪化した。

特に、新型コロナウイルス感染症入院患者ありの病院の医療利益率は、24・6%減と大幅な赤字になっており、1カ月の赤字額（2020年3～6月平均医療損失）は1億980万円にのぼっている。一方、入院患者なしの病院であっても、医療利益率は9・7%減であり、2010万円の赤字であった。

1カ月1床当たりで見ると、入院患者ありの病院は4万1100円の赤字、入院患者なしの病院で1万8000円の赤字となっている。

なお、重症・中等症の新型コロナウイルス感染症患者に対しては、特例的な診療報酬の引き上げが行われているが、病院全体で見ると、3～6月通期の入院1件当たり点数は、新型コロナウイルス感染症入院患者あり

松本吉郎常任理事は、7月8日に公表したアンケート調査「新型コロナウイルス感染症の病院経営への影響」医師会病院72病院に対して、2回にわたって実施した。本調査は、医師会病院72病院に対して、2回にわたって実施した。本調査は、医師会病院72病院に対して、2回にわたって実施した。





うっさい! うつらない!

調査結果の概要は、以下のとお

「電話等再診」の算定回数の割合は、3〜6月通期の再診料等の約1%にとどまっているものの、一度でも電話等再診を行った病院は約8割に達している。

同常任理事は、3〜6月の初診料算定回数が前年同期に比べ約3割減少し、再診料、外来診療料も約2割減少していることと触れ、「5月に比べ、6月は若干持ち直したものの、3月時点とほぼ同水準であり、受診控えに回復の兆しが見えている」と言い難い」と指摘。

記者との質疑応答では、新型コロナウイルスは、

「再診料または外来診療料算定回数」は、3〜6月通期が21・7%減で、新型コロナウイルス感染症入院患者ありの病院では、5月が39・7%減、3〜6月通期で28・1%減と、落ち込みが激しくなっている。

「電話等再診」の算定回数の割合は、3〜6月通期の再診料等の約1%にとどまっているものの、一度でも電話等再診を行った病院は約8割に達している。

同常任理事は、3〜6月の初診料算定回数が前年同期に比べ約3割減少し、再診料、外来診療料も約2割減少していることと触れ、「5月に比べ、6月は若干持ち直したものの、3月時点とほぼ同水準であり、受診控えに回復の兆しが見えている」と言い難い」と指摘。

記者との質疑応答では、新型コロナウイルスは、



釜淵敏常任理事

釜淵敏常任理事は、本年5月に日医が実施した「令和2年医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所調査」の結果を公表した。

本調査は、医師会立の助産師・看護師・准看護師学校養成所における入学・卒業状況の実態と運営状況等の把握を目的として毎年実施しているもので、今年度は324校から回答を得た。

調査結果の概要は、以下のとお

## 令和2年医師会立助産師・看護師・准看護師学校 養成所調査結果を公表

【学校数】今年度募集を行った学校数は、准看護師課程165校、看護師2年課程68校、看護師3年課程69校、助産師課程5校。助産師課程を除いた全ての課程で、昨年度と比べ募集校数が減少している。

【入学状況】今年度は准看護師課程への応募者数が初めて9000人を下回り、大きく減少。入学者数は定員7383人に対し5642人と大きく定員を割り、全国の平均倍率は1・1倍(最高倍率3・1倍、最低倍率0・3倍)であった。また、他の課程も応募者が減少しており、看護師2年課程は0・9倍(最高倍率2・0倍、最低倍率0・2倍)、看護師3年課程の倍率は2・1倍(最高倍率4・7倍、最低倍

率0・7倍)であった。

【卒業後の進路】准看護師課程の場合、医師会管内(設立母体の医師会管内の医療機関に就業した者が27・5%、医師会管外(それ以外の県内の医療機関に就業した者)が14・6%であった。准看護師課程は、その性格上進学が多く、医療機関に就業しながらを合わせて進学が43・8%であった。看護師2年・3年課程は、医師会管内が3割強、医師会管外が3割弱で、合計8割以上が県内の就業であった。

同常任理事は、「看護系大学の増加や少子高齢化の影響もあり、どの課程も学生の確保・経営面において厳しい状況にあるが、ここまで何とか課程を維持してきた准看護師養成所においては、募集停止・閉校が増加傾向にあり、大変厳しい状況にある」との認識を示す

一方、「医師会立学校養成所卒業者の県内就業率は高く、地域の看護職員確保に非常に大きな役割を果たしていると言え、この厳しい状況下で負担がますます増大し、養成所の運営自体が危ぶまれる中、学校独力で現状を変えていくことは極めて困難である」と指摘。

「日医として、厚生労働省へ基金の確保や規則の柔軟な運用、並びに養成所同士の連携や共同運営が可能となるような指定

規則の検討について引き続き要望していく」と述べた。

べ、状況改善に向けた意欲を示した。

規程の検討について引き続き要望していく」と述べた。

べ、状況改善に向けた意欲を示した。

規程の検討について引き続き要望していく」と述べた。

べ、状況改善に向けた意欲を示した。

## 年金・税制課を分割し、「医療経営支援課」と「年金福祉課」を新設

日医は8月18日に開催された令和2年度第6回理事会において、現行の「年金・税制課」を分割し、「医療経営支援課」と「年金福祉課」を9月1日付で設置することを決定した。

昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、厳しい経営環境に置かれている医療機関に対する経営支援の必要性が高まっている。

今回の見直しはこうした状況に鑑み、医療税制を含む医療機関の経営支援に係る担当課を設置し、対応の充実を図るために行われたものである。

二つの課の所管事項は、

「新型コロナウイルス感染症対策室」を新設

日医ではまた、8月4日に開催された令和2年

度第13回常任理事会において、同日付で健康医療第二課の中に「新型コロナウイルス感染症対策室」を新設することも決めた。

従来、新型コロナウイルス感染症対策については同課で対応してきたが、長期化が予想されることも、その対策の重要性がますます高まっている。

同対策室は、日医として当該業務の迅速化と専門部署としての明確化を図り、これを対外的に示すことを目的として、設置することにしたものである。

## ポビドンヨード含有うがい薬に関する報道を受けて

同常任理事はまず、自身も副委員長として関与し、本年6月に取りまとめられた会内の「健康食品安全対策委員会(委員長・尾崎治夫東京都医師会長)の報告書において、ヘルスリテラシーの重要性が指摘される一方、新型コロナウイルス感染症流行下で、情報のパンデミックであるインフォデミックによって国民が振り回されていることなどが指摘されたこと

ポビドンヨード含有うがい薬に関する各種報道について、販売店に客が殺到するなど、国民生活に混乱が生じていることに強い懸念を示すとともに、報道関係者と国民に冷静な対応を呼び掛けた。

神村裕子常任理事は、ポビドンヨード含有うがい薬に関する各種報道について、販売店に客が殺到するなど、国民生活に混乱が生じていることに強い懸念を示すとともに、報道関係者と国民に冷静な対応を呼び掛けた。

また、特に注意しなければならぬ情報として「●●をすれば治る・良くなる」といった単純な図式の情報を挙げた上で、同報告書に記載されている医療・健康情報を判断するキーワードとして、「いなかもち(あるいは、かちもちない)」を紹介。

それぞれの文字には、①い・いつの情報か?、②な・何のために書かれたか?、③か・書いた人

たか?、④も・元ネタ(根拠)は何か?、⑤ち・違う情報と比べたか?—という意味が当てられており、⑤については、「他の多くの情報とは全く違うかもしれない」ということを念頭に置きながら、冷静に再検討頂きたい」と補足した。

最後に、同常任理事は、ポビドンヨード含有うがい薬は第三類の一般用医薬品であることから、転売が薬機法違反となることを強調。また、一般用医薬品を購入する際には、ヘルスリテラシーの基本として、有効成分など正しい基礎情報をきちんと収集した上での判断を呼び掛けた。

たか?、③か・書いた人たか?、④も・元ネタ(根拠)は何か?、⑤ち・違う情報と比べたか?—という意味が当てられており、⑤については、「他の多くの情報とは全く違うかもしれない」ということを念頭に置きながら、冷静に再検討頂きたい」と補足した。

最後に、同常任理事は、ポビドンヨード含有うがい薬は第三類の一般用医薬品であることから、転売が薬機法違反となることを強調。また、一般用医薬品を購入する際には、ヘルスリテラシーの基本として、有効成分など正しい基礎情報をきちんと収集した上での判断を呼び掛けた。

## ポビドンヨード含有うがい薬に関する報道を受けて

同常任理事はまず、自身も副委員長として関与し、本年6月に取りまとめられた会内の「健康食品安全対策委員会(委員長・尾崎治夫東京都医師会長)の報告書において、ヘルスリテラシーの重要性が指摘される一方、新型コロナウイルス感染症流行下で、情報のパンデミックであるインフォデミックによって国民が振り回されていることなどが指摘されたこと

また、特に注意しなければならぬ情報として「●●をすれば治る・良くなる」といった単純な図式の情報を挙げた上で、同報告書に記載されている医療・健康情報を判断するキーワードとして、「いなかもち(あるいは、かちもちない)」を紹介。

それぞれの文字には、①い・いつの情報か?、②な・何のために書かれたか?、③か・書いた人

たか?、④も・元ネタ(根拠)は何か?、⑤ち・違う情報と比べたか?—という意味が当てられており、⑤については、「他の多くの情報とは全く違うかもしれない」ということを念頭に置きながら、冷静に再検討頂きたい」と補足した。

最後に、同常任理事は、ポビドンヨード含有うがい薬は第三類の一般用医薬品であることから、転売が薬機法違反となることを強調。また、一般用医薬品を購入する際には、ヘルスリテラシーの基本として、有効成分など正しい基礎情報をきちんと収集した上での判断を呼び掛けた。

たか?、③か・書いた人たか?、④も・元ネタ(根拠)は何か?、⑤ち・違う情報と比べたか?—という意味が当てられており、⑤については、「他の多くの情報とは全く違うかもしれない」ということを念頭に置きながら、冷静に再検討頂きたい」と補足した。

最後に、同常任理事は、ポビドンヨード含有うがい薬は第三類の一般用医薬品であることから、転売が薬機法違反となることを強調。また、一般用医薬品を購入する際には、ヘルスリテラシーの基本として、有効成分など正しい基礎情報をきちんと収集した上での判断を呼び掛けた。

たか?、③か・書いた人たか?、④も・元ネタ(根拠)は何か?、⑤ち・違う情報と比べたか?—という意味が当てられており、⑤については、「他の多くの情報とは全く違うかもしれない」ということを念頭に置きながら、冷静に再検討頂きたい」と補足した。

最後に、同常任理事は、ポビドンヨード含有うがい薬は第三類の一般用医薬品であることから、転売が薬機法違反となることを強調。また、一般用医薬品を購入する際には、ヘルスリテラシーの基本として、有効成分など正しい基礎情報をきちんと収集した上での判断を呼び掛けた。

## 日医事務局を組織変更

日医事務局を組織変更

日医事務局を組織変更

日医事務局を組織変更

日医事務局を組織変更

日医事務局を組織変更



# 役員紹介へ常任理事

## ―就任に当たったの抱負と 担当業務について―

### 羽鳥 裕 常任理事



健康スポーツ、学術・生涯教育(医学)、倫理、医療廃棄物、公衆衛生・禁煙対策・がん対策

常任理事4期目となる羽鳥です。神奈川県川崎市幸区で、内科・循環器科で開業して30年になります。幸区医師会理事、川崎市医師会理事(健康スポーツ、産業医、医療情報、健保、21世紀の医療を考える委員会担当)、神奈川県医師会理事(公衆衛生、新型インフルエンザ、5疾病5事業、禁煙、ビジョン委員会)などを経て、6年前から日医の常任理事を務め、今期4期目の常任理事に選定、選任されました。

中川俊男会長になり、医師会員だけでなく国民に寄与するため、政府与党や厚生労働省に対して「言わなければならない」と理解しています。小生の日医での担当は主担当分野の他、副担当として、情報、共同利用施設、精度管理、産業保健、感染症危機管理対応などを担います。新型コロナウイルス感染症の広

いっ医の主担当となりましたが、健康スポーツ医制度を会員にとって魅力的なものにしたいと考えています。

また、日本専門医機構理事として3期目になります。総合診療専門医検討委員会委員長を拝命して2期目になり、来年9月には第1回の専門医試験を行うために講習会、テキストづくりなど喫緊のテーマが目白押しです。

### 釜 敏 常任理事



地域医療、医療関係職種、感染症危機管理対策・予防接種

常任理事として4期目を務めることになりました。引き続き、新型コロナウイルス感染症対策等に取り組みで参ります。必要な情報を速やかに医療現場にお伝えするとともに、現場のさまざまな課題解決につながるよう、国に対して働き掛けを続けるだけでなく、地域により感染状況や背景はそれぞれ異なりますので、都道府県が地域に適した対策を講じられる

地域医療のありようは、コロナ禍により大きな影響を受けています。一方、地域医療構想の推進は避けることのできない課題であり、地域の実情に応じた医療機関の役割分担と連携を進めてい

### 松本 吉郎 常任理事



総務、医療保険、共同利用施設、環境保健、医療機関経営

常任理事3期目に選任・選定頂き、深く感謝申し上げます。

今期は新たに総務と医療機関経営を担当いたします。

総務担当としては、日医の事業全般が滑らかに進むように、かつ日医役員相互並びに事務局との連携強化に努めて参ります。また、日医の組織強化に引き続き尽力いたします。

医療機関経営は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって医療機関が危機的状況となる中で、中川会長の熱い思いによる新しい事業です。医療経営が安定して成り立つように支えるべく、委員会を設置して検討いたします。

今期も引き続き医療保険を担当いたします。中医学協委員として次期診療報酬改定に全力を傾ける所存です。国民皆保険を堅持し、かかりつけ医の

を、赤字運営の中で維持できるかどうかの岐路に立たされています。都道府県の准看護師資格試験を代行する「日本准看護師推進センター」を、しっかり運営して参ります。

喫緊の課題である「医師の働き方改革」については、日医主導で地域医療の継続性と勤務医の健康を共に守るべく対応し、諸課題についてしっかりと国へ提言いたします。

また、引き続き外国人医療対策について、会内委員会を開催し、訪日・在留外国人医療の諸問題の検討を行い、解決に向けて尽力いたします。

副担当になった産業保健においては、産業医のスキルアップへの支援と産業医を守るための全国的な組織強化を図るべく取り組んで参ります。

今後も中川会長・三副会長の指導の下、国民に安全・良質な医療を提供できるように努めて参ります。会員の先生方のご指導と支援をよろしくお願いたします。

### 城守 国斗 常任理事



広報、医療安全、医療総研

広報、医療安全、医療総研  
広報に関して、対外広報として、現在喫緊の課題となっている新型コロナウイルス感染症関連を始めるさまざまな疾患等の情報を正確かつタイムリーに提供できる体制構築に努めるとともに、今回の新興感染症により、大きな変化が求められる医療制度・政策情

報にも興味を向け頂ける広報活動に注力したいと思っております。また、会内広報に関しては、日医から発信される情報に対する会員の先生方のアクセス性の更なる向上を目指すとともに、重要な医療政策情報の適切な提供に努めます。

### 長島 公之 常任理事



医療政策、情報、救急災害医療、労災・自賠責、年金、会員情報(電子認証センター)

2期目の常任理事に選任・選定して頂きました長島公之です。

情報(医療分野のIT)に関しては、現在、厚生労働省において、データヘルス改革が急速に進みつつあります。これは、日本の医療に大きな変化をもたらすものです。現在は、健康・医療・介護の情報、患者本人や医師がITにより活用する仕組みの導入が検討中ですが、「国民」と「医師」を要とした医療者の両者にとって、有効かつ安全で、実際に役に立つ改

革にする必要があります。電子的な安全性を確保するため、医師資格証の重要性も増しています。IT分野でのこれまでの経験を生かし、全力を尽くしたいと考えています。また、救急災害医療では、気候の変化による災害の多発、熱中症、感染症、高齢者の増加などの状況に対応することが急務です。これまでの仕組みを改善・改良し、しっかりと対応できるようにしたいと考えています。

引き続き、ご指導・ご支援をお願い申し上げます。



### 江澤 和彦 常任理事



介護保険・福祉（認知症を含む）、精度管理、精神保健（障害を含む）、図書館

このたび、常任理事2期目に選任・選定頂き、深く感謝申し上げます。改めて身の引き締まる思いとともに、日医執行部の職務に粉骨砕身の精神で励みたいと決意しております。

### 橋本 省 常任理事



財務、国際、勤務医、病院

COVID-19パンデミックのため外国との交流は制限されていますが、できることを着実に進めて行きたいと思っております。

誰もが住み慣れた地域で、人生の最期まで自分らしく生き生きと暮らしたいと願っており、介護保険の二大目的である「尊厳の保持」と「自立支援」の実現に向けて、かかりつけ医による地域包括ケアの推進への期待が高まっています。ご本人の意思を最大限に尊重するために、想いを馳せながら寄り添い支えて参る所存です。

今回、初めて常任理事に選任・選定頂きました。昨年末では、国立病院機構仙台医療センター院長と国立病院機構理事（北海道東北担当）を務めておりました。

急性期から慢性期、介護に至るまでの究極のゴールは、その人らしい暮らしの実現や穏やかな大往生を創造することにあります。一人ひとりの「尊厳の保障」の実現へ向け、かかりつけ医の役割と機能の発揮がより一層国民の大きな支えになると考えており、その実現に向けて努めて参ります。

### 宮川 政昭 常任理事



税制、薬事、健・検診、治療促進センター

このたび、常任理事に選任・選定頂き、深く感謝申し上げます。この重責に身の引き締まる思いとともに、職務に精いっぱい励みたいと決意しております。

国際に関しては世界医師会、アジア大洋州医師会連合としてハーバード大学、FICG公衆衛生大学院武蔵国際保健プログラムを担当として、その発展にどのように寄与できるのか、内容を精査しつつ考えたいと思っております。

このたび、常任理事に選任・選定頂き、深く感謝申し上げます。この重責に身の引き締まる思いとともに、職務に精いっぱい励みたいと決意しております。

### 神村 裕子 常任理事



産業保健、国民生活安全対策、有床診療所、会員福祉、男女共同参画、女性医師支援センター

現場の先生方のご意見を伺いつつ、より良い医師会を目指して活動したいと思っております。

このたび、新たに日医常任理事に選任・選定頂きました神村裕子です。主担当の他に、総務、広報、学校保健を副担当として受け持ちます。多分野をさまざまな角度から俯瞰しつつ職務に努める所存です。

産業保健では関係団体や行政との連携・協働を通じて産業医の活動を推進し、その中でも全国の産業医の組織強化は重要事項です。産業保健は労働者の健康を通じて地域全体の健康にも貢献できることを念頭に、ICT化やテレワークなどの新たな働き方に対応できる産業医体制づくりを目指します。

### 渡辺 弘司 常任理事



学校保健、先端医療、周産期・乳幼児保健、医事法制、検案

このたび、常任理事に選任・選定頂きました渡辺弘司です。

学校保健においては、これまでの健康教育の充実という基本的考えを継承しつつ、地域の医師会、教育関係者と連携し事業を進めていきたいと思っております。

最後に、検案に関する課題は、警察医関連の業務の整備と死因究明に関する法律の制定です。全国の警察医との連携をどのようにとっていくか、虐待死や犯罪死を見逃さないようにするためにどうすべきか、今後検討していく必要があります。

他に、母体保護法、緊急避妊薬、新型出生前診

行政との各種会議に於いて、医療の現場から国民に寄り添う視点で、利便性と安全性や有効性の妥当性について適切に判断して対応したいと考えています。

治療促進センターでは、医師主導治療の実施支援及び大規模治療ネットワークの構築・整備等の支援を更に推進して参ります。

女性医師支援センターについては、共同参画の理念を推進しつつ、就業支援策を講じておりますが、同センターには男性シニアドクターからの相談も散見されます。各地の医師確保策を勘案しつつ、これからの更なるニーズを探っていく所存です。

各分野とも会員先生方のご支援、ご指導あってこそのごこと存じます。よろしくお願い致します。



ニュースポータルサイト「日医on-line」では、定例記者会見の映像等、さまざまな情報をご覧頂けるようになっております。ぜひご活用下さい。

https://www.med.or.jp/nichiionline/



# 「日本医師会かかりつけ医データベース研究事業 (J-DOME)」の取り組み

## —生活習慣病対策に向け日本高血圧学会と連携—

わが国の生活習慣病対策が今以上に重要となる中、日医は「日本医師会かかりつけ医データベース研究事業 (J-DOME)」の対象疾患に高血圧症を含めることとし、本年7月30日に日本高血圧学会と連携協定を結んだ。

J-DOMEは、かかりつけ医の診療の現状把握と情報提供を行う研究事業で、2018年に糖尿病を対象に開始しているが、このたび、日本高血圧学会の伊藤裕理理事長よりJ-DOMEの仕組みを同学会で活用する提案があり、協定を締結することになった。

これにより、日医は糖尿病と高血圧症を含む症例データの安全な運用を行うとともに、地域医師会や関連団体への協力依頼を継続し、日本高血圧学会は学会員からの症例の収集を推進する。また、J-DOMEの対象に高血圧症を加え、生活習慣病データベースとして新たに位置付けることとなる。

J-DOMEでは、診療所を中心とした地域のかかりつけ医 (一部は中小病院) の協力により、年1回の症例登録を行っている。施設別の解析結果はレポートとして協力施設に送付し、日常診療の参考にしてもらう他、症例データは地域の専門医との連携ツールとして活用できる。既にレポートを2回発行し、専門医/非専門医の患者像や処方などの分析に加え、症例研究も継続して実施している。

6月より今年度の糖尿病症例登録を開始しており、現在、約9000症例が集積されている。データは基本患者情報、処方、検査値の他、レセプトデータからは得られない合併症・併発症などの問診情報を含み、匿名化され安全に管理されている。

わが国では、従来より糖尿病専門医など専門医の診療データは集積されてきたが、かかりつけ医の診療データの収集は遅れていた。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う生活習慣病の悪化が危惧される中、日医は日本糖尿病対策推進会議、そして日本高血圧学会と共に、生活習慣病対策のツールの一つとして、J-DOMEの更なる活用を図っていく予定としている。



### 日医君グッズ好評発売中

日医では、公式キャラクターである「日医君 (にちいくん)」のグッズを販売しています。日常使いやプレゼントなどにぜひ、ご活用願います。

価格や購入方法等の詳細は、日医のホームページをご参照下さい。

※ご購入頂きました売上の一部は、日医の「災害対策積立資産」に繰り入れし、災害発生の際活用させていただきます。

詳しくは  
日医君グッズ

日医ホームページ  
「日医君 (にちいくん)」グッズ販売  
[http://www.med.or.jp/people/info/people\\_info/008936.html](http://www.med.or.jp/people/info/people_info/008936.html)

### 訃報

■大久保幹雄氏 (元山梨県医師会長、日医理事・監事)



8月6日死去、91歳。葬儀は、近親者のみで執り行われた。

氏は昭和4年山梨県出身。昭和29年新潟医科大学医学部卒業後、昭和36年7月大久保内科医院開業。

山梨県医師会副会長・会長を経て、平成16年4月から日医監事、平成18年4月から日医理事を、それぞれ1期ずつ務めた。

平成20年に旭日小綬章を受章している。




# 南から北から

長崎県  
長崎市医師会報  
第637号より

院長室で  
トレーニング??

廣中 郁朗



生来の運動音痴なので、仕事部屋にはパターマットがあるくらいで、それもほごりをかぶって久しい。院長室はなぜ、過酷なトレーニング場へと変わったのか……。

年少組に入った孫が時々時間つぶしに遊びに来るようになった。始めはボールをやみくもに投げたり、わめきながら走り回るばかりで、にわたりを追い掛けているようなものだった。

数カ月が経ち少し人間らしくなったある日、私の白衣に妙に食い付いてきた。「これは、じいちゃんのこと。少し疑わしげに尋ねてくる。ポケットにリットマンを発見すると、更に羨望のまなざしへ変わる。聞けば、数年前の仮面ライダーが白衣姿で聴診器を首に下げていたという。これは、ライダーになりますか？

後には、自分でもあきれくらの妄想体系を組み上げる。じいちゃんは院長室で毎日変身のトレーニングに励んでいる。専門医ならぬライダー協

が、当然変身はできない。弟にいじわるをした時は、そんなことではライダー失格だと叱る。号泣する。「もうしないから、ぼくもライダーになりたい」。よしよし、分かればよい。教育効果もあるじゃないか。揚げ句は、兄弟喧嘩の原因となる大事な変身ベルトを、「これはおもちゃだけと練習に使って」と差し出すまでに信じ込んでいく。責任重大である。

サンタクロースをいくつまで信じていたかと話題になるが、サンタさんは年に一度だからどうでもなるだろうが、仮面ライダーは年中無休だから……。武器でもないのだから……。


その日以来、扱いが変わる。「ねえ、ねえ、じいじい。今日は変身できたの？ ぼくも、練習したいよ。ぼーっと生きているわけじゃないのだから……。

ある日、娘から相談を受けました。亀を飼いたいというのです。娘が学校で昼休みに鬼ごっこをしていて、鬼から隠れようと礼拝堂の裏に駆け込んでいったところ

神奈川県  
横浜市医師会報  
No.927

亀のミライ

福元 晃



夏休みまではよかったのですが、夏休み中は飼育ができなくなり、クラスの中でその亀を飼ってくれる家を探すことになりました。娘は自分が初めに見つけたことから愛着もあり、ミライと名前をつけて可愛がっていました。そこで今回の相談となったのです。

ただ私は爬虫類は苦手なので、初めは絶対に反対でしたが、娘が今までになく一生懸命インターネットや本で亀の飼育方を調べているのを見て、ホムルームで引き取る人を決めるといって朝、「エントリーはしたら」と言いました。娘が初めに見つけたので、可能性は高いかも知れないと思っ

ては、予想どおりうちに来ることになりました。来ると思ったからに、きっちり飼ってあげようと準備が始まりました。水槽でなくてもよいことを知り、毎日洗うにはよいので衣装ケースを買った。エサなども用意し、亀が来る当日となりました。

来た亀はA4サイズで、初めは正直可愛とは思えませんでした。娘は「可愛いね」と言いながら毎日丁寧に歯ブラシで甲羅の表と、亀をひっくり返して裏側も洗っています。

学習で3〜4日家を空けることになったので、自分が洗うことになりました。こちらもおっかなびっくり、向こうもおっかなびっくりで甲羅を洗っていたところ、ちょっとした隙に急に亀が逃げ出しました。驚いたのは亀の足の速いことです。ウサギと亀のイメージでゆっくり歩くのかと思っ

た。海での産卵のイメージしかなかったので、家での産卵という驚きと、そもそもオスと思っていたので、メスであった驚きとで、どうしていいかわからず、娘と二人でしばらく呆然としていました。しかし、ミライがじっと動かないのが気になるので、卵管に卵が詰まってしまう話なども聞いていたので、不安になり二人で本を読んだりネットで調べたりして対処を探りましたが、結局どうしていいかわからずじまいでした。


朝起きたらミライが水槽にいました。一晩はずっと同じ場所にいたようですが、朝、妻が水槽に戻したそうです。夜にはエサも食べるようになった。数日したら知らぬ間にまた散歩するようになった。いつもの平穩が戻ってきました。

最近慣れたのか、よく水槽とベランダを行き来するようになった。水槽を出たり入ったりするところを直接見られるようになった。歩

新潟県  
新潟県医師会報  
No.838より

犬は待つ

石塚 敏朗



く姿は結構可愛く、日向ぼっこをしたり、自由に散歩するのを見ているとほほ笑ましいです。しかし、そこで窓を開けて見

真っ黒なダックスフント11歳は娘の犬である。両眉が茶色な犬であるが、娘が自動車で所用に出掛ける時しばらく玄関に向かっ吠え、それから戸口の方へ向き直り、お座りして待つ。帰宅した時は、自動車のタイヤ音を察し、精一杯に尾を振って出迎える。

こうして流れていったのだが、監視カメラ3台付きの玄関チャイムに入れ替えてから、失敗続き。カメラが物の動きを捉える感知音で、直感力が狂ってしまった。

感知音が鳴ると、娘の帰宅だと間違えて、飛び出していく。そして、何回も失敗を繰り返して、感知音は空振りだと学習し始めた。1日に5、6回繰り返しているうちに、「この音はあまり期待できないな」といった風に首を傾げ、しげしげと向くのだ。この学習も一日経つと忘れてしまうのだ

そして、本物の娘が帰宅した時には、出迎えに失敗する。「何で迎えにこないのよ」。大きな雷が落ちて、「こりゃ、届きけり(野木富)



# 案内



## 日本医師会認定産業医制度基礎研修会 産業医科大学産業医学基礎研修会 東京集中講座

◆主催：日本医師会、産業医科大学  
◆共催：産業医学振興財団

◆目的：産業医としての被選任資格を取得する

◆開催期間：令和3年2月8日(月)～13日(土)【6日間】

◆開催場所：クロス・ウエーブ府中(東京都府中市日鋼町1-40)

◆定員：260名(先着順に360名を受け付け)

◆申込方法：詳細は、産業医科大学のホームページ(https://www.joeh-u.ac.jp/index.html)を参照願いたい。

◆申込要件：①日本の医籍登録をしている者②全日程参加できる者

◆受講料：14万円(テキスト・資料代、昼食代を含む)

# 「みんなで安心マーク」の発行に必要なユーザーIDとパスワードとは

「みんなで安心マーク」の発行を受けるには、ご自身で日医ホームページから手続きして頂く必要があります。その際、日医会員にはユーザーIDとパスワードが求められますが、多くの先生方から問い合わせを頂いています。

そこで、今号ではユーザーIDとパスワードについてご説明します。

ユーザーIDとパスワードは2001年4月より、全ての日医会員の先生方一人ひとりに付与しているものです。「みんなで安心マーク」を発行申請する際にはこの2つの数字を半角で入力する必要があります。

◆ユーザーID(ユーザー名)：会員ID番号(日医刊行物送付番号)の10桁の数字で、会員証や医師資格証にも記載されています。日医より先生のお手元にお送りしている『日医ニュース』『日医雑誌』等の宛名シール下部にも印刷されているものです(発送辞退のお申し出を頂いていない場合)。

◆パスワード：先生の生年月日を用いて作成しており、西暦の下2桁+月2桁+日2桁の計6桁の数字となります。

※このユーザーID、パスワードにより「みんなで安心マーク」の発行だけでなく、日本医師会メンバーズルーム(会員専用)もご覧頂けるようになりますので、ぜひご活用下さい。



は、日医への申請により、日本医師会認定産業医の認定書を交付する。その他、産業医大の受講証明書の発行される。ご案内します。

## 書籍紹介



### 在米ドクター60年 —日米両国から 表彰された開業医— 中澤 弘 著



本書は昭和7年に群馬県高崎市に生まれた若者が、第二次大戦後、幾多の苦難を乗り越えて、日米両国の架け橋になるまでを描いた自伝である。著者は、高崎市で眼科の開業医をしていた母親の跡を継ぐことを決意し、千葉大学医学部に入

る。その後、アメリカ映画を繰り返し見ながら独学した南部なまりの英会話で、横須賀米海軍病院のインターン試験に合格し、渡米後は聖アグネス病院での勤務を経て、外科

科病院を開業。ボルチモア市医師会会長、メリーランド州医師会副議長、米国鍼灸師会会長に就任するなど、類まれな業績を残している。

また、川崎市・ボルチモア市の姉妹都市委員長として日米両国の架け橋となったことで、レーガン大統領(当時)から表彰された他、日本政府からも旭日小綬章を贈られるなど、その功績は高く評価されている。

本書は、日本の若者がもっと世界に羽ばたくために、少しでも参考になればとの思いから執筆されたもので、その間の人種差別との闘いや数々の失敗談が、ユーモアあふれる文章でつづられてお

る。仮に、掛金の月額上限額6万8000円で加入の場合、6万8000円×7の47万6000円が控除の対象となる。不確実な将来への備えとして、節税しながら老後に備える基金制度の活用が重要な選択肢となるが、特に、本年の税控除を検討している方は、10月15日(必着)までに加入申請書の提出が必要となるので、早めの手続きをお勧めする。

国民年金基金制度に、税制上の優遇措置として社会保険料控除が適用され、基金の掛金(年間上限額81万6000円)については、全額が課税所得金額から控除することが認められている。

この社会保険料控除は、1月から12月末まで実際に納付した金額が対象となる。掛金額の口座引き落としは2カ月遅れとなっているため、9月の中旬までに加入申請書を送付した場合、9月分(初回分)の引き落としは11月となり、令和2年は、2カ月分が社会保険料控除の対象となる。更に、基金掛金の「一括納付」の手続きを選択した方については、9月分から来年3月分までの納付が可能となり、令和2年は、7カ月分を控除の対象とすることができ

## ハーバード大学T.H. Chan公衆衛生大学院 新型コロナウイルスの影響による 武見国際保健プログラムの活動について

### 武見フェローの帰国報告を動画配信

2019-20年度の武見フェロー2名による帰国報告は、報告会を催さず

に下記サイトからそれぞれ動画配信されているので、ご参照下さい。  
(武見プログラム>国際活動>医師のみなさまへ>日本医師会: [http://www.med.or.jp/doctor/international/takemi\\_program/003457.html?fbclid=IwAR2S\\_unnEfN8oOdqCnfVOIXs4CltglX-eT307WnCRww-DVLEfa61S5GJL-Q](http://www.med.or.jp/doctor/international/takemi_program/003457.html?fbclid=IwAR2S_unnEfN8oOdqCnfVOIXs4CltglX-eT307WnCRww-DVLEfa61S5GJL-Q))

### 「死別後のうつをソーシャルキャピタルは緩和するか」

中込敦士 千葉大学大学院医学研究院循環器内科医員

### 「アジア地域のHIV関連スティグマ」

小熊妙子 東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学特任助教

### 2021-22年度武見フェローは募集せず

2020-21年度の武見フェローは、2020-21年度がリモート、2021-22年度は現地での武見プログラムに参加する形式を採用することになりました。そのため、2021-22年度の日本人武見フェローは募集しないこととなりましたので、ご承知置き下さい。

**ハーバード大学T.H. Chan公衆衛生大学院武見国際保健プログラムとは**  
武見プログラムは、1983年に武見太郎元日医会長の構想である「医療資源の開発と配分」に着目したハーバード大学が、日医の協力の下に同大学公衆衛生大学院に設置し、毎年世界各国より10名程度の中堅の専門家・研究者がフェローとして選考され、研究活動を行っています。

問い合わせ先：日医国際課 E-mail: [jmaintl@po.med.or.jp](mailto:jmaintl@po.med.or.jp)



り、一読に値する一冊と定価 2200円(税込) 発行 総合医学社

## 全国国民年金基金 日本医師・従業員支部案内

### 本年の社会保険料控除を希望する方は早めに加入を!